

歯科・口腔外科に受診され薬剤関連性顎骨壊死と診断された患者様へ

当院は、医療機関としてだけでなく、医・歯学をはじめとする医療に関する教育機関、研究機関としての役割を有しております。個人情報の取扱いに関し、以下にご理解、ご協力頂きますよう、お願い申し上げます。

研究内容

診療の中で、得られた検査や、症例情報を、治療方法や薬剤等の効果を分析研究し、今後の治療に対し有益、重要な情報と判断した場合には、学会・論文等において、発表することがあります。発表するにあたっては、患者様が特定されないよう、匿名化する等、患者様の個人情報、プライバシーには細心の注意を払います。また、公衆衛生や医療の質の向上のため、国あるいは専門の研究機関が広範囲に行う疾患動向や、罹患性などの調査へ協力しています。また、難病の医学研究等においても同様に、国あるいは専門の研究機関に対し、継続的にデータを提供し、研究に寄与しています。

個人情報の保護に関する法律に従い、基本的には本揭示（明示）により同意があるものとして対応いたしますが、使用目的に同意しがたいものがある場合はその旨を申し出下さい。

当研究の意義、目的、方法

課題名「当科を受診した MRONJ（薬剤関連性顎骨壊死）患者の臨床的検討」

薬剤関連性顎骨壊死（以下 MRONJ）は骨粗鬆症薬・悪性腫瘍の骨転移等で使用されているビスフォスフォネート製剤や分子標的薬により発症の危険性があるといわれています。現在でも発症契機や治療法等が様々な施設で研究されています。

この研究の目的として、臨床的検討を行う事により、今後の予防策や対応策の統一見解を得る事にあります。

方法としては 2011 年 4 月 1 日から 2015 年 3 月 31 日の期間に当科を受診し、MRONJ と診断された患者様の臨床的所見・治療をもとに研究を行います。内容としては、対象患者様の性別、年齢、使用薬剤、服薬期間、発症部位、病状、治療方針に関しまして研究を行います。

- 問い合わせ先・研究代表連絡先 -

東京歯科大学オーラルメディシン・口腔外科学講座

TEL:047-322-0151 (代表)

松本亜弓